

平成 23 年度

高等学校における発達障害に関する実態調査の結果について

高校教育課
特別支援教育課
教学指導課心の支援室

1 調査対象

長野県公立高等学校生徒

全日制 85 校 定時制 18 校 通信制 2 校

2 調査基準日

各年度 8 月末

3 調査方法

調査用紙を各学校に配布し、各項目について医師の診断のある生徒について
カウントした。

4 集計方法

特別支援教育課で集計した。

5 統計作成の留意点

対全体比の母数は、各年度 5 月に実施している学校基本調査の統計を使用した。

平成 23 年度

全日制 48,199 人

定時制 2,191 人

通信制 2,706 人

合 計 53,096 人

平成23年度

高等学校における発達障害に関する実態調査の結果について

高校教育課
特別支援教育課
教学指導課心の支援室

1 診断を受けている生徒の在籍数

(1) LD(学習障害)

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
21年度	20	14	1	35	0.06%
22年度	34	19	5	58	0.11%
23年度	33	9	1	43	0.08%

(2) ADHD(注意欠陥多動性障害)

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
21年度	52	29	2	83	0.15%
22年度	93	31	7	131	0.24%
23年度	86	32	5	123	0.23%

(3) HF PDD(高機能広汎性発達障害)

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
21年度	116	48	7	171	0.32%
22年度	160	65	5	230	0.42%
23年度	179	85	15	279	0.53%

※高機能広汎性発達障害には高機能自閉症、アスペルガー症候群を含む

(4) 複数の診断

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
21年度	16	4	0	20	0.02%
22年度	21	7	1	29	0.05%
23年度	13	6	1	20	0.04%

※複数の診断に含まれる診断例：

LD(学習障害)とADHD(注意欠陥多動性障害)

ADHD(注意欠陥多動性障害)とHF PDD(高機能広汎性発達障害)

LD(学習障害)とHF PDD(高機能広汎性発達障害)

(5) 合計

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	通信制	合計	対全体比
21年度	204	95	10	309	0.57%
22年度	308	122	18	448	0.82%
23年度	311	132	22	465	0.88%

2 診断を受けている生徒が在籍する学校数

(単位：校)

年度	全日制	定時制	通信制
21年度	59	16	2
22年度	70	18	2
23年度	75	18	2

3 スクリーニングにより、特別な支援が必要だと思われる生徒数

(単位：人・%)

年度	全日制	定時制	合計	対全体比
21年度	605	165	770	1.42%
22年度	788	262	1050	2.06%
23年度	789	253	1042	2.07%

※通信制については、課程の特性により調査の対象外とした

4 診断を受けている生徒の進路状況(22年度卒業生)

(単位：人)

障害名	進学	就職	作業所等	その他	合計
学習障害 (LD)	5	4	0	1	10
注意欠陥多動性障害 (ADHD)	15	5	0	5	25
高機能広汎性発達障害 (HFPDD)	35	6	0	10	51
複数の診断	1	1	0	0	2
合計	56	16	0	16	88

※高機能広汎性発達障害には高機能自閉症、アスペルガー症候群を含む

※複数の診断に含まれる診断：

ADHD(注意欠陥多動性障害)とHFPDD(高機能広汎性発達障害)

※その他の進路：家居、アルバイト等